

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1 施設の概要等

施設名	府中市オオムラサキの里展示棟		
所在地	広島県府中市僧殿町623番地		
設置目的	オオムラサキを保護することにより、市民の自然環境保全への関心を深めることを目的とする。		
施設・設備	展示棟、ネット小屋、浄化槽(10人槽)、モニターテレビ(29型)、モニターカメラ(1台)、VTR・ビデオデッキ(一式)、水中ポンプ(一式)、野外時計(1基)、案内板(1基)、館名板(1基)、木製テーブル(1卓)、木製イス(8脚)		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 僧殿町内会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	250 人	35 人	- 人	-215 人	14.0	%
	R5	250 人	280 人	245 人	30 人	112.0	%
	R6	250 人	270 人	-10 人	20 人	108	%
	R7	250 人	300 人	30 人	50 人	120	%
	R8	人	人	人	人		%
増減理由							

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	来場者への聞き取りなど	
	【主な意見】	【その対応状況】
	オオムラサキを身近に見ることができ、子どもたちも毎年楽しみにしている。	
	道中に草木が茂っていることがある。	定期的に指定管理者にて草刈りを実施。

4 市の業務点検等の状況

項目					実績	備考
報告書	年度				○	事業報告書
	月報				×	月次報告書
	日報(必要随時)				○	設備の破損故障等随時
管 理 運 営 会 議					【特記事項等】	
1 回 会場 展示棟内					利用状況や不具合修繕状況についての報告・提案をし、意見交換協議を行った。	
現 地 調 査 (実 施 月)					【指定管理者の意見】	
					引き続き報告と意見交換協議を実施。	
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】 ・施設訪問(2月、4月、5月、7月、8月) ・飼育ネット付近のサル被害現場の確認(5月)	
	○		○	○		
6月	7月	8月	9月	10月		
	○	○				
11月	12月					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	710	0		R4	0	0
	R5	710	0		R5	0	0
	R6	710	0		R6	0	0
	R7	710	0		R7	0	0
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	710	710	0	
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	
	計 (A)	710	710	0	
	支出				
	人件費	116	104	▲ 12	
	光熱水費	74	49	-25	
	設備等保守点検費	200	237	37	
	清掃・警備費等	0	0	0	
	施設維持修繕費	50	50	0	
	事務局費	0	0	0	
	その他支出	270	270	0	
	計(B)	710	710	0	
自主事業	収支①(A-B)	0	0	0	
	収入 (C)	0	0	0	
	支出 (D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支 (① + ②)		0	0	0	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	今年度は通常展示、自然に帰す会の開催を企画どおり実施できた。 従事者の高齢化のため、展示するために飼育している個体数が減少している。 鳥獣被害等から個体を守るため、破損した保護ネットを交換、設置するなど対策を講じた。	自然に帰す会を開催し、来場者も多く訪れた。 管理従事者の高齢化が懸念されるが、施設を使用することができるよう管理は行うことができている。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	従事者の高齢化のため保護活動は継続することが困難。指定管理者(町内会)内で、次期指定管理委託契約の内容については検討していく。	管理従事者が高齢化していることも踏まえ、指定管理者内で、今後の保護活動等の実施体制を検討してもらうことが必要。 あわせて施設廃止や用途変更を含め、施設の今後の在り方を検討していかなければならない。